



学校だより 1月号

横浜市立日下小学校 令和 4年 1月 7日

夢に向かって ともに歩み 未来を拓く 日下小

日下小学校 ホームページURL

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hishita>

新しい年に思う

金子 孝

新しい年を清々しい気持ちで迎えられたことと思います。今年は寅年、十二支の中では3番目の年です。十二支は植物の育つ姿を表していると言われていています。寅年は、芽を出した植物が根や茎を伸ばして育つ姿を表しているそうです。今年も子どもたちがすくすくと成長していく姿がたくさん見られるようにがんばっていきたいです。

本年もご支援とご協力をお願いいたします。

言葉の美しさ

お正月と言えば、子どもころに凧揚げやコマ回しなど遊んだ記憶があります。今でも様々な形になって残っています。かるた取りもその一つで、「犬棒かるた」「ことわざかるた」「百人一首」など種類も豊富です。3年生の国語で俳句や短歌の学習が始まります。言葉のリズムを楽しみながら読んでいました。独特な言い回しなので解釈は難しいと思いますが、言葉のリズムや響き、詠んでいるときの風景など想像することができます。日本語特有の表現に触れてその良さを味わえたのではないのでしょうか。以前勤めていた中学校では、百人一首を全校で取り組んでいました。各教室の廊下には表に上の句、裏に下の句が書かれた紙を掲示していて、生徒はそれをめくりながら覚えていました。私も廊下を回りながら一緒に覚えることができました。それぞれの和歌にはその時の心情や風景などが巧みに表現されています。言葉の一つひとつに日本語の美しさを感じることができます。また、歌に出てくる風景や場所にも心惹かれるものがあります。一首の和歌で想像が広がる、そんな日本語はとても美しいと感じます。しかし、最近、子どもたちの言葉の使い方に乱れを感じるが増えています。言葉は、口から発したときから相手に伝わります。それは責任が生じるとも言えます。言葉は、コミュニケーションを図る上で大切なものです。正しく伝える、相手を大切に思うなどの考えが必要です。言葉は使い方、相手を傷つけることもあります。和ませることもできます。日本語は、美しい響きや表現、そしてその土地特有の方言など言葉の温かさを感じるものがたくさんあります。私も美しく温かい日本語の使い手になりたいと思っています。子どもたちにも、美しい日本語にたくさん触れてほしいです。

「チャレンジする心」「人とつながる力」コーナー

12月は、人権週間でそれぞれの学年で目標を立てて振り返りました。それぞれの学年で、相手を大切にできる気持ちをもつことが必要であると、考えている子どもがたくさんいました。その気持ちを大切にできるように支援していきたいです。

